

# 漁業・養殖業の廃棄物は 計画的に処理しましょう！

## < 漁業系廃棄物計画的処理推進指針 >

### ☑ 漁業経営の安定に

費用を把握して、計画的に処理。



(左) 網地 (右) ロープ

### ☑ 分別・保管は適切に

みんなで協力して効率的に。



写真：(公財)海と渚環境美化・油濁対策機構 / 固形燃料化

### ☑ リサイクルの検討を

再利用できそうなものは売却又は譲渡。

特に、このパンフレットを読んでいただきたい方

- ・ 廃棄物処理の方法に迷っている漁業者
- ・ 廃棄物処理を見直したい漁業関係者

環境省の漁業系廃棄物処理ガイドラインも併せてご確認ください。



水産庁





# 漁業者が取り組む廃棄物処理の手引き

(参照：指針本文p6~13)

## 発生量 発生時期

漁業・養殖業で、いつ・どのくらいの量の廃棄物が発生するのか整理しましょう

産業廃棄物：化繊ロープ類 ○kg/年  
一般廃棄物：魚介類残渣 ○kg/月

## 分別・前処理 の方法

処理業者に前処理が必要か確認し、方法を整理しましょう

付着物の除去（脱塩・高圧洗浄）  
小さいサイズへの切断  
粉碎・圧縮など

漁業者同士で協力  
しましょう

## 循環的な利用

リユースやリサイクルなど循環的な利用ができないか検討しましょう

（漁協等でとりまとめ、）農業用資材として農家へ譲渡  
飼料化・肥料化、固形燃料化

## 保管方法 費用

保管する場所を期間・費用を含めて確認しましょう

共同保管場：○万円/月  
（期間）○月～○月

## 収集・運搬の 方法・費用

どの業者に委託し、いくら費用が必要となるのかを整理しましょう

運搬業者：○円/kg（廃プラスチック類）  
処分業者：○円/kg（廃プラスチック類）

## 情報をまとめる

今まで確認した情報をまとめてみましょう

**次のページの表のようにまとめ、**  
計画的に廃棄物の処理を行い、  
漁業経営の安定につなげましょう！



# 漁業系廃棄物の処理計画（イメージ）

一般廃棄物と産業廃棄物  
に分けて整理しましょう

頻度についても  
整理しておきましょう

前処理の  
方法について  
把握して  
おきましょう

他の漁業者と協力して  
前処理・分別作業を  
行うと効率的です

廃棄物を区別し、  
分別して保管  
しましょう

10年に1回などの  
廃棄物の処理費用に  
関しては、  
先を見越して  
費用を積み立てる等  
しましょう

品目	漁網	化繊ロープ類	発泡スチロール製 フロート
一般/産業廃棄物	産業廃棄物	産業廃棄物	産業廃棄物
発生頻度	●年に1回	●年に1回	6ヶ月に1回
発生量	●反	●kg	●個
廃棄時期	令和●年●月	令和●年●月	●月・●月
前処理方法	ロープ等の取り外し、 金属との分別	付着物の除去 (高圧洗浄)、 切断	減容機での 破碎・圧縮
共同作業	付着物の除去	切断	破碎・圧縮
循環的な利用 (リサイクル等)	農業者に防獣ネット として譲渡	-	-
保管場所	漁具倉庫	共同保管場	共同漁具倉庫
保管費用	-	●円/年	●円/年
収集運搬業者	自己	●●業者	●●業者
収集運搬費用	-	●円/kg	●円/kg
処分業者	-	●●業者	●●業者
処分費用	-	●円/kg	●円/kg
年間費用合計	-	●●円	●●円
廃棄物量合計	一般廃棄物：計●トン/年 産業廃棄物：計●トン/年 うち廃プラスチック類 ●トン 金属くず ●トン		

漁業・養殖業の状況に合わせて、  
**定期的に**チェックや見直しを行いましょう！



## ◆ 漁業者団体等が取り組む計画的処理の手引き

- 地域で同じ種類の廃棄物が大量に発生する場合は、漁協及び漁連等が主導し、漁業者による計画的な処理を推進しましょう。
- 詳しくは指針本文p14~19をご確認ください。

## ◆ ごみ・漁具の流出防止について

たばこ・空き缶などの  
ポイ捨てはやめましょう



漁具が海や河川に  
流出しないよう  
船などにしっかり  
固定しましょう

使い古したフロートの  
フェンダー（防舷材）への  
再利用はやめましょう  
（破碎・流出します）



ごみは**陸へ**持ち帰るなど、  
**ごみ・漁具の流出防止**に  
取り組みましょう！



## ◆ お問い合わせ先

漁業系廃棄物計画的処理推進指針の内容についての詳細は以下のURLからご確認ください。  
[http://www.jfa.maff.go.jp/j/sigen/action\\_sengen/190418.html](http://www.jfa.maff.go.jp/j/sigen/action_sengen/190418.html)

水産庁 漁場資源課 海洋保全班  
ダイヤルイン：03-6744-2382  
FAX番号：03-3502-1682

11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



14 海の豊かさを  
守ろう

